

【お神札のまつり方】

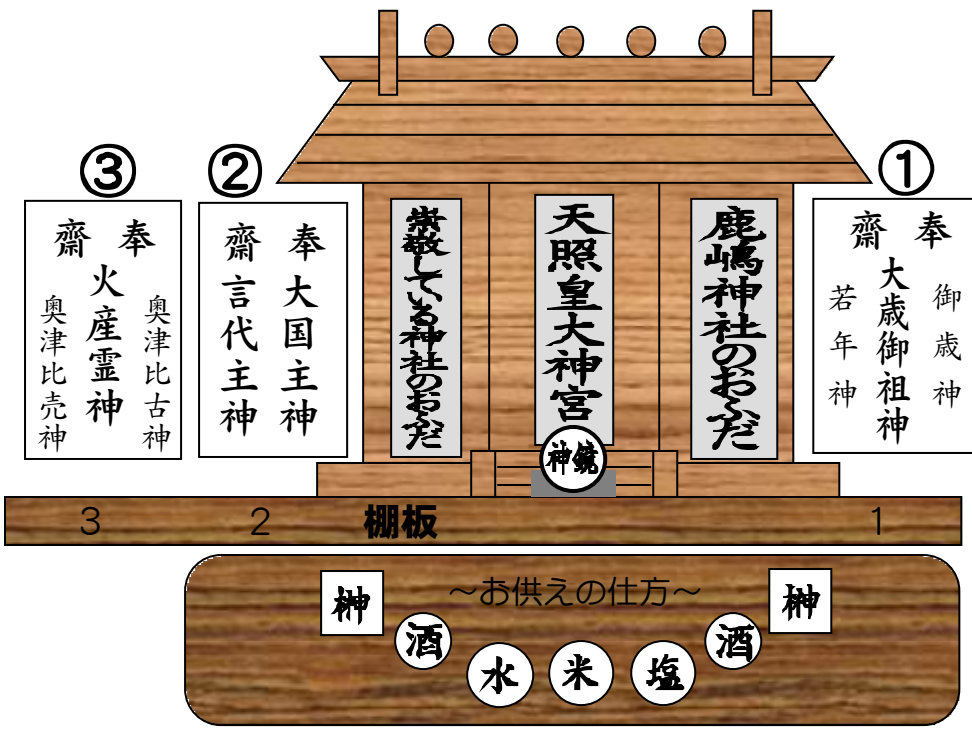
◆お神札をおまつりする時期は、年末です。年末に新しいお神札をおまつりし、新しい年を迎えましょ。

◆お神札のまつり方は、神棚に向かつて宮型(みやがた)神さまのやしらの中央に神宮大麻(じんぐうたいま)「天照皇大神宮」を、右側に白河地方の総氏神様である鹿嶋神社のお神札「鹿嶋神社大麻」を、左側に崇敬している神社ある場合はそのお神札「崇敬神社御札」をおまつりします。

【年神さまのお神札のまつり方】

◆神棚に向かつて右側に①「大歳御祖神」を、左側に②「おおくにぬしのかみ 大国主神・ことしろぬしのかみ 言代主神」をおまつりください。③「ほむすびのかみ 火産霊神」は、台所などの火を使う場所におまつりいただくか、左記の図のように神棚の左側におまつりください。

年神さまのお神札は、左の図のように、宮型の横に貼りおまつりいただくか、棚板(↑1・2・3の場所)に貼りおまつりください。貼る際には、のりかテープで止めてください。



～年神さまのお神札について～

- ①年神さま「おとしみおやのかみ 大歳御祖神(おとしみおやのかみ)」は、お正月に各家庭にお越しになる神さまです。年神さまは、新しい年の家庭の幸せや穀物の実りを約束してくれる神さまであり、私たちに生命を与え、生活を見守ってくださる神さまです。
※このお神札をおまつりする期間は、年末から小正月(1/15)頃までです。この小正月頃になりましたら、正月飾りと一緒に「大歳御祖神」のお神札をおろします。
- ②「おおくにぬしのかみ 大国主神(おおくにぬしのかみ/大黒様)・ことしろぬしのかみ 言代主神(ことしろぬしのかみ/恵比寿様)」は、農業・漁業・商業の守護神で商売繁盛・家内安全などのご利益があります。
※このお神札をおまつりする期間は、年末から一年間です。
- ③「ほむすびのかみ 火産霊神(ほむすびのかみ)」は、火をつかさどる竈(かまど)の神さまです。
※このお神札をおまつりする期間は、年末から一年間です。